

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37866	
事業名	学校図書館活用促進費						
評価担当課	所属名	教) 学校教育部 教育推進課					
	課長名	伊達 峰史	担当者名	三浦 裕子	電話番号	011-211-3891	
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	①開館時間の延長、貸出冊数、利用人数の増加、授業における学校図書館活用機会の拡充を図る。②司書教諭や図書館担当者による学校図書館の総括的運営を支え、学校図書館を中心とした児童の読書環境を整える。				
		長期	①学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を強化し、生徒の読書への興味・関心を向上させる。②学校図書館の計画的な利用や機能の活用を通して、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。				
	取組内容	①学校司書配置事業…中学生の読書活動を推進し、読書への興味・関心を向上させるとともに、授業における学校図書館の活用を充実させるため、学校司書を全中学校に配置する。 ②図書館ボランティア派遣事業…地域開放図書館が設置されていない小学校に、司書教諭・図書館担当者などと協力し、貸出返却業務や学校図書館の環境整備の補助など、児童の読書を促進する活動の補助などを行う図書館ボランティアを派遣する。					
	実施結果	学校司書を全中学校に配置し、学校図書館の環境整備や授業での活用を行った。また、地域開放図書館が設置されていない小学校に学校図書館ボランティアを派遣し、学校図書館の環境整備での活用を図った。					
事業実施における工夫点	①研修を行い、学校司書の資質向上を図る。 ②学校図書館ボランティアの派遣校、登録者の増員を行い、環境整備・活動の充実を図る。						
対象者	①中学校 ②開放図書館の開設されていない小学校			開始	平成22年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	①学校図書館法、会計年度任用職員(学校司書)設置要綱						
他都市の状況	①政令指定都市においては、20市中14市において小中ともに全校配置、残り6市においても一部配置となっている。(令和元年度)						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		100,940	105,000	86,571	105,000
うち特定財源		137	175	115	279
人工		2.0	2.0	2.0	2.0
人件費		14,400	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)		115,340	119,400	100,971	119,400
事業費の内訳	令和3年度決算	会計年度任用職員報酬 69,925千円 期末手当 4,629千円 報酬(共済費) 5,773千円 報償費 75千円 費用弁償 6,115千円 その他保険料 54千円 その他委託料 0円 その他使用料・賃借料0円			
	令和4年度予算	会計年度任用職員報酬 69,912千円 期末手当 6,352千円 報酬(共済費) 7,218千円 報償費 3,995千円 費用弁償 16,982千円 その他保険料 60千円 その他委託料 61千円 その他使用料・賃借料 420千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	配置校での生徒一人あたりの年間平均貸出冊数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5冊	5冊	5冊	5冊	
活動指標2	指標名	学校司書及び図書ボランティア派遣校数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	171	171	174	176	
成果指標1	指標名	「読書が好きな子ども」の割合(小)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	77.4	77.4	77.3	77.4	
成果指標2	指標名	「読書が好きな子ども」の割合(中)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	72.7	72.7	72.5	72.7	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校司書の配置を全中学校に配置し、子どもたちの主体的な読書活動を促すため、開館時間の延長や館内展示の工夫を行うなどした。</li> <li>調べ学習における図書館資料の準備等、教員への授業支援や、授業における学校図書館の活用を促す取組を行った。</li> <li>学校司書を対象とした研修を適時実施するとともに、学校司書の活動必携を活用し、図書館運営の充実に係る資質・能力の向上を図った。</li> </ul>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校司書をすべての中学校に配置した。</li> <li>前年度から継続して活動している学校司書と今年度から新規に活動を開始した学校司書との取組に関する交流が適切に行われ、各校において学校図書館の活用の充実が図られ、子どもたちの主体的な読書活動を促すことにつながった。</li> </ul>			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校司書が活動することにより、司書教諭や学校図書館担当者の連携が一層強まり、学校図書館が効果的に活用されている。</li> <li>学校司書対象の研修会等において、配置校での取組成果を共有することを通して、より実効性の高い取組が行われている。</li> </ul>			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>開館時間の延長や館内展示の工夫などにより、貸出冊数や利用人数が増えるなど、子どもたちの主体的な読書活動が促進された。</li> <li>図書館資料の準備等、授業の支援が行われることで、調べ学習などの充実が図られるとともに、学校図書館の活用機会が増加した。</li> </ul>			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	学習における学校図書館の活用については、充実、発展させる必要がある。 引き続き、学校司書の活用について、学校への一層の理解啓発と学校司書研修の充実を図る。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	学校司書対象の研修内容について、各校における取組成果の交流機会を増やし、実効性の高いものとした。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	研修会において、配置校での取組成果を共有し、各校において取組の充実が図られている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 全中学校において、学校図書館の一層の利活用を図る。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 全中学校への配置を維持する。		見直し効果額	0 千円